

行動認識AIを用いた矯正施設における異常行動とその予兆を検出する技術の研究開発

事業概要（フェーズ1）

内容

矯正施設での監視運用の業務効率化を目的とした異常行動検知AIの研究開発を行う。運用イメージとしては、AIで検知した異常行動を職員がモニターで確認し、対処が必要かどうかを判断することで、職員の業務効率の改善を行うものである。

背景・経緯

矯正施設には多くの監視カメラが設置され、職員が常時監視しているが、これらが捉えている映像を詳細に把握し、全ての状況を把握するためには、多数の職員を映像の確認に配置する必要がある。しかしながら、現状の職員体制では1名ないし2名で対応する施設がほとんどであり、対応に限界を迎えつつある。

狙い、波及効果

監視カメラ映像をAI等により解析し、職員による不適正処遇や被収容者の自傷行為等の異常行動等を自動的かつ迅速に検出する技術の開発を目的とする。

事業化

本事業では大きく2フェーズを想定しており、フェーズ1では、現地調査及びヒアリング調査を通じた検知対象項目の決定、及びAIモデルの開発及びオフライン環境化での試験を実施する。フェーズ2では、フェーズ1で開発したAIモデルを実際の環境にて試験を行い、運用時の課題の洗い出し及びそれらの課題の解決に向けた研究開発を実施する。フェーズ2実施後には、全272施設の導入に向けた最終的な有るべき運用体制の検討を行い、販売を開始するものとする。

株式会社アジラ

本社所在地	東京都町田市中町1丁目4-2
設立／資本金	2015年6月1日／100,000千円
従業員数	47名（2024年8月現在）
事業内容	AI 警備システム「AI Security asilla」の開発と販売、及び行動認識AIソリューションの提供

